

雑誌オーナー制度

図書館の雑誌オーナーになりませんか？

「雑誌オーナー制度」は、図書館で受入している雑誌の購入代金を負担していただくと、図書館で広告を出すことができるという制度です。

図書館にある雑誌の最新号の透明なカバーの表紙と裏表紙に、オーナー様の名前や広告などを載せることができます。

個人・団体など問いません。あなたもオーナーになってみませんか？

問合せ： 可児市立図書館本館 Tel (0574) 62-5120

図書館の来館者が気軽に手に取る雑誌。身近なところに広告を出すことができるのがメリットですね。

今年度の雑誌オーナーのみなさまです。ご協力ありがとうございます。

(オーナー名 / 雑誌名 / 設置場所)

- 田村母乳ケアハウス / Baby-mo (ベビモ) / 帷子分館
- 株保険パートナー / Baby-mo (ベビモ) / 本館
- カフェ フィーバス / 東海ウォーカー / 本館
- 防衛省自衛隊 / MAMORU (マモル) / 本館
- ジェーティアダチ(有) / クロワッサン / 本館
- うちどく(家読)10 推進 / ダ・ヴィンチ / 本館
- orieri@bambi / オレンジページ / 本館
- 多治見友の会 / 婦人之友 / 本館
- スポーツプラザヒビノ / ゴルフダイジェスト / 本館



職員のおすすめ《この書き手に注目！》

ジェイン・オースティン

(1775-1817年 イギリス・ハンプシャー生まれ)

18～19世紀のイングランドにおける田舎の中流社会を舞台とした、主に結婚話を題材とする、平凡な日常生活を皮肉とユーモアをもって描いた。代表作に『ノーサンガー・アビー』『分別と多感』『自負と偏見』『マンスフィールド・パーク』『エマ』『説得』の長編小説6作品がある。これらは一見同じような結婚話に見えるが、そのヒロインたちは全てタイプが違い、異なった趣向が凝らされている。また度々映像化・映画化されている。

代表作6作品のうちで最も人気があるのが、登場人物それぞれの自負(プライド)と偏見による恋のすれ違いを描いた『自負と偏見(原題:Pride and Prejudice)』(新潮社など。『高慢と偏見』の訳題もあり)である。この時代、女性には自立できる職業はほとんどないうえに、相続権も認められていなかった。その為、良い結婚相手を見つけることが、女性の幸せとされていた。このような物語の時代背景や風俗に古めかしさはあるものの、一見頼りなくはあるが、鋭い観察眼を武器に自分の人生を切り開こうとする主人公の姿は、現代に生きる私たちにも強く共感することができる。18世紀に書かれたイギリス古典作品であるにもかかわらず、長く読み継がれる作品である理由は、このようなところにあるのではないだろうか。

(本館 篠田)

長岡 弘樹

(ながおか ひろき 1969年山形県生まれ)

作家。筑波大学卒。2008年『傍聞き』(双葉社)で日本推理作家協会賞(短編部門)を受賞。著書に『教場』『線の波紋』(どちらも小学館)など。

『教場』は、警察学校の短期課程で学ぶ生徒達と、その担当教官を描いた小説です。警察官は、憧れだけではなれない職業ですが、生徒達の甘い見通しを打ち砕く、あまりに過酷な訓練と授業に「こんな酷い仕打ちをする学校があるのか？」と驚きつつ読み進むことになります。ですが、一話一話のエピソードは、実は生徒自身が招いた災厄を描いています。怨嗟、見栄、保身、勇気のなさなど、心の未熟さがその原因のようです。冷厳な教官の風間は「退校届」を用意して迎えますが、鮮やかに解決へと導きます。それは、煩惱に苦しむ衆生を救う菩薩のような存在にも見えます。

そんな風間教官を慕う読者が増えたためか、今年『教場2』が出ました。さらに内容が内省的になったようです。社会人はもちろん、これから社会に出る若い方にお勧めします。

(本館 長谷川)

あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
情報、読書			
019.5/サ/	生きてごらん、大丈夫 子どもたちに物語の力を一。作品を通して生きる喜びを伝え続けてきた作家たちの言葉と、本を子どもたちに届ける活動やそれを担う人々の思いを紹介する。	佐々波幸子／著	かもがわ出版
070.4/マ/	新聞の正しい読み方 新聞を読む際に必要な基礎知識、長年の読者も知らない「新聞の文法」、記者の「情報を立体的に読み解く技」を紹介する。『日経新聞』の読み方と営業・就活への応用も伝授。	松林薫／著	NTT 出版
哲学、心理学			
114.2/コ/	あの世へ逝く力 時間が迫っている中で、満足するゴールを迎えるには、効率性と確実性を最大限に高める“技術”が必要ですね。余命 2 年半を宣告された、伝統的和食・おもてなしの専門家が、死の覚悟をつくりあげていった過程を詳細に綴る。	小林玖仁男／著	幻冬舎
159/セ/	戦う君と読む 33 の言葉 人生は「判断」では差がつかないが、「決断」で大きな差がつく。どんな場所を選んで生きるのかで未来は創られていくのだ。現状を打破し、「戦う人生」を選んだ人を助けてくれる珠玉の言葉が満載。	千田琢哉／著	KADOKAWA
歴史・地理			
291.5/マ/	岐阜を歩く 2006 年、プラハで暮らしはじめた著者は、年に 1 度のペースで岐阜での取材を始めた…。岐阜を歩きながら「ニッポン」を見つめ直す日本再考ルポ。	増田幸弘／著	彩流社
社会			
319.8/キ/	核の戦後史 原爆投下の経緯・背景と核の戦後史の見方について重要なポイントを解説。さらに、アメリカの公文書などを元に、核戦略の核心、放射能汚染やヒバクシャに対する日米両政府の対応と実態について明らかにする。	木村朗／著	創元社
367.9/エ/	LGBT サポートブック いじめを受けている児童・生徒をどう支援すべき？同性パートナーに病状を説明してもよい？学校・教育関係スタッフや医療・看護スタッフが知っておくべき LGBT の知識を解説。	はたちさこ／編著	保育社
382.4/ア/	アフリカの老人 アフリカで人はいかに老いていくのか。エチオピア、ケニア、マダガスカル、コモロ諸島、南アフリカの老人たちの多様な姿が描き出す比較民族誌。地球規模の高齢化が叫ばれるなかで、老いることの価値と目標を問い直す。	田川玄／編	九州大学出版会
自然科学・医学			
404/ウ/	人間 VS テクノロジー 3D プリンター、ロボット技術、人工多能性幹細胞…。先端科学技術の現状を解説しつつ、テクノロジーの発展と正しく向き合うための「倫理」をイェール大学生命倫理学術センターの研究者が説く。	ウェンデル・ウォラック／著	原書房
440.7/ホ/	星空の演出家たち 世界一大きいプラネタリウムを持つ名古屋市科学館。限りなく本物に近い星空を目指して、名古屋市科学館 54 年の歴史を紡いだ解説者たちの物語を綴る。	中日新聞出版部／編	中日新聞社
451.8/フ/	地球を「売り物」にする人たち 氷の下の資源争奪戦に明け暮れる石油メジャー、水と農地を買い漁るウォール街のハゲタカ、天候支配で一攫千金を目論む科学者たち…。地球温暖化「後」の世界を見据えた「えげつないビジネス」の実態を暴く。	マッケンジー・ファンク／著	ダイヤモンド社
498.3/ヤ/	座ってできる!シニアヨガ 伝統的なヨガのポーズと哲学を大事にしながらも、イスに座ったままできる「シニアヨガ」プログラムの中から、最も基本的で実践しやすいメニューを紹介。腰痛、肩こり、不眠など、高齢者が抱える悩みに応えるヨガも収録する。	山田いずみ／著	講談社

- 501.8/カ/ **バリアバリュー** 垣内俊哉／著 新潮社
 企業や自治体、教育機関におけるユニバーサルデザインのコンサルティングを手がける「ミライロ」の設立者が、「バリアフリー（障害を取り除く）」ではなく、「バリアバリュー（障害を価値に変える）」思考法を伝える。
- 537.0/イ/ **エピソードで読む自動車を生んだ化学の歴史** 井沢省吾／著 秀和システム
 蒸気、電気、ガソリン。動力原理の異なる3種類の自動車が誕生した際に、化学の原理や化学者たちがどのように貢献してきたのかを、エピソード満載でわかりやすく解説する。未来の自動車の燃料も紹介。

芸術・スポーツ

- 721.9/オ/ **日本名城画集成** 荻原一青／画 小学館
 昭和中期に伝説の城郭画家がいた！天守はもとより、櫓、御殿、堀、松の木、城下の住宅までも、綿密な考証と現地調査に基づき美しく精密に再現。109城・180図、荻原一青画伯のすべての遺作を収録。
- 786.5/ロ/ **ロードバイクで旅する本** 榎出版社
 山梨県・富士五湖、石川県・能登半島、香川県・小豆島…。ロードバイクで走ったニッポンの旅を紹介。ほか、旅先までのバイクの搬送手段マニュアル、タイプ別旅の装備、サイクルバッグコレクションなども収録。

日本文学—小説

- 913.6/アサ/ **眩(くらら)** 朝井まかて／著 新潮社
 北斎の娘に生まれ、その右腕として様々な絵を描く一方、自分だけの光と色を終生追い続けた女絵師・応為。自問自答する20代から、傑作「吉原格子先之図」に到る60代までを描く。
- 913.6/ウエ/ **うめ婆行状記** 宇江佐真理／著 朝日新聞出版
 北町奉行所同心の夫を亡くした商家出のうめは、気ままな独り暮らしを楽しもうとしていた矢先、甥っ子の隠し子騒動に巻き込まれ、ひと肌脱ぐことに…。著者の遺作となる、未完の長編時代小説。
- 913.6/カク/ **拳の先** 角田光代／著 文藝春秋
 文芸編集者の那波田空也は、ボクシング選手・タイガー立花の日々を見つめ続けるうち、不吉な予感を覚える。才能とは。逃げるとは。リングという圧倒的空間に熱狂と感動を描ききる長編小説。
- 913.6/クボ/ **アカガミ** 窪美澄／著 河出書房新社
 2020年を境に急増した若者の「性」離れ。これまで異性と話すことすらなかったミツキは、国のお見合い制度「アカガミ」を通じて、次第に恋愛やセックスを知り、「新しい家族」を得るが…。
- 913.6/サガ/ **大きくなる日** 佐川光晴／著 集英社
 ありふれた日常の中に、かけがえのない大切な瞬間が詰まっている…。4人家族の横山家の歩みを中心に、人生の小さな転機の日を描く、9つの連作成長物語。
- 913.6/サト/ **コロボックルに出会うまで** 佐藤さとる／[著] 偕成社
 昭和24年、市役所に就職した青年は新しい長篇童話を志し、やがて、日本を代表する児童文学作家になった…。創作と生活の日々をみずみずしくえがいた佐藤さとるの自伝小説。
- 913.6/サト/ **美女二万両強奪のからくり** 佐藤雅美／著 文藝春秋
 南北の両奉行が仰天した前代未聞の町会所襲撃事件。唯一の手がかりは柳腰で豊満な絶世の美女。上からおしかりを受けた仲間のため、鏡三郎はワル中のワルを追う。シリーズ第9弾。
- 913.6/ナカ/ **彼女に関する十二章** 中島京子／著 中央公論新社
 宇藤聖子(50歳・主婦)が、ふとしたことで読み始めた60年前の「女性論」。一見古めかしい昭和の文士の随筆と聖子の日々の出来事は、不思議と響きあって…。ミドルエイジを元気にする長篇小説。
- 913.6/ハラ/ **暗幕のゲルニカ** 原田マハ／[著] 新潮社
 国連本部のロビーに飾られていた名画「ゲルニカ」のタペストリーが、2003年のある日、忽然と姿を消した…。大戦前夜のパリと現代のNY、スペインが交錯するスリリングな美術小説。

913.6/ヒラ/	マチネの終わりに	平野啓一郎／著	毎日新聞出版
	深く愛し合いながら一緒にいることが許されなかった蒔野聡史と小峰洋子。2人はなぜ別れなければならなかったのか。そして、再び巡り逢えるのか。恋の仕方を忘れた大人に贈る恋愛小説。		
913.6/マキ/	バベル九朔	万城目学／著	KADOKAWA
	作家志望の「俺」が管理人を務める雑居ビル「バベル九朔」で奇妙な事件が頻発。ある絵に触れた瞬間、なぜか「俺」は湖にいた。そこで出会った少女に「鍵」を渡されると、巨大な塔が現れ…。		
913.6/ヤマ/	神様のコドモ	山田悠介／著	幻冬舎
	反省しない殺人者には、死ぬより辛い苦痛が。愛する者を失った人のもとには、幸せな奇跡が一。天上界から“神様の子”が見た、1話3分で読める42の物語を収録する。		
913.6/ヨシ/	橋を渡る	吉田修一／著	文藝春秋
	大切な人の不倫、不正、裏切り。正義によって裁くか、見ないふりをするか。やさしさに流されてきた3人の男女が立ち止まるときー。新次元の群像ドラマ。		

展 示 の ご 案 内

■ 4 / 3 0 (土) ~ 5 / 2 6 (木) ■

こどもの読書週間特集 この本なんだ？

クイズであてよう本のなまえ展 (本館1階)

本のあらすじやキャラクターから、題名をあててくださいね。クイズで楽しむ絵本と児童書の展示です。親子でチャレンジしてください。
(こどもの読書週間：4月23日～5月12日)

■ 5 / 2 8 (土) ~ 6 / 1 9 (日) ■

たばこについて知っていますか？展
(本館1階)

毎年5月31日は「世界禁煙デー」です。また、厚生労働省では世界禁煙デーに始まる1週間を「禁煙週間」とし、たばこ健康問題について普及啓発を行います。たばこの害を知り、禁煙について考えてみませんか？
(可児市健康増進課)

館長挨拶 図書館長 豊吉常晃 (とよし つねあき)

4月から、図書館長に着任しました。微力ながら精一杯務めてまいりますので、よろしく申し上げます。

初めての図書館勤務ではありますが、図書館との接点は私が新入職員となったときに遡ります。昭和56年、当時は可児町役場でしたが、初めての配属先が社会教育課でした。建物は現在の図書館が建設される前のものですが、同じ教育委員会所属という関係から、応援体制により移動図書館「ひまわり号」に乘車して市内を巡回したことがあります。人事異動が発表された時には、当時は懐かしく思い出しました。

さて、今後の図書館の事業としましては、今年度から平成31年度までの4年間を計画期間とする「第3次可児市子どもの読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校のそれぞれにおいて子どもの読書活動を進めてまいります。

また、図書館サービスの提供と読書活動の推進のため、「郷土資料や行政資料の充実」「読み聞かせや、赤ちゃんと絵本事業の実施」「うちどく(家読)10運動の推進」などの事業を職員一同、力を合わせて行ってまいります。

多くの皆様に気軽に利用いただける図書館にしていきたいと思っておりますので、お力添えをお願いし、着任の挨拶とさせていただきます。

図書館帷子分館は、帷子公民館まつり開催のため、臨時休館します。

平成28年 5月15日(日) ※本館と桜ヶ丘分館は通常どおり開館します。

開館時間【本館】 平日 10:00～19:00、土日祝 10:00～17:00 【分館】 全日 9:00～17:00	休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日 (5月 2,9,16,23,27,30日)
---	--



「図書館だより」2016年5月号
発行：可児市立図書館 編集：長谷川(本館) 電話(0574)62-5120
資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。